

# 中小企業景況調査報告

(第1四半期)

平成30年4月～6月期実績

平成30年7月～9月期予測

平成30年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、平成29年度版統計ふくやまによると1,315社であり、内訳は建設業162件 製造業276件、小売・サービス業314件となっている。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

平成30年4月～6月期実施

### (5) 調査時点

平成30年6月1日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (平成30年4月～6月)		次期の見通し (平成30年7月～9月)
	前年同期 (平成29年4月～6月)に比べて	前期 (平成30年1月～3月)に比べて	次期 (平成30年4月～6月)に比べて 来期の見通し
製造業	66.7	66.7	66.7
建設業	±0	±0	±0
小売業	▲20.0	20.0	▲20.0
サービス業	▲40.0	▲40.0	▲40.0

**製造業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (平成30年4月～6月)		次期の見通し (平成30年7月～9月)
		前年同期 (平成29年4月～6月)に比べて	前期 (平成30年1月～3月)に比べて	次期 (平成30年4月～6月)に比べて来期の見通し
業況	好転	2	2	2
	不変	1	1	1
	悪化	0	0	0
	D・I	66.7	66.7	66.7
売上 (加工)額	増加	2	2	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	66.7	66.7	
売上 (加工)単価	増加	1	0	/
	不変	2	3	
	減少	0	0	
	D・I	33.3	±0	
売上 (加工)数量	増加	1	1	/
	不変	2	2	
	減少	0	0	
	D・I	33.3	33.3	
資金繰り	好転	2	1	/
	不変	1	2	
	悪化	0	0	
	D・I	66.7	33.3	
原材料 仕入単価	上昇	2	/	/
	不変	1		
	低下	0		
	D・I	66.7		
採算 (経常利益)	好転	1	/	/
	不変	1		
	悪化	1		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

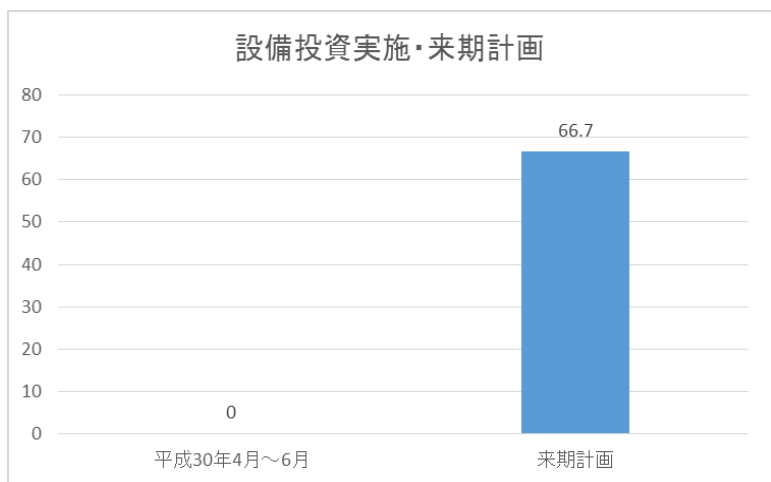
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は無し。

【来期計画内容】

回答事業所の内、来期 66.7%計画。

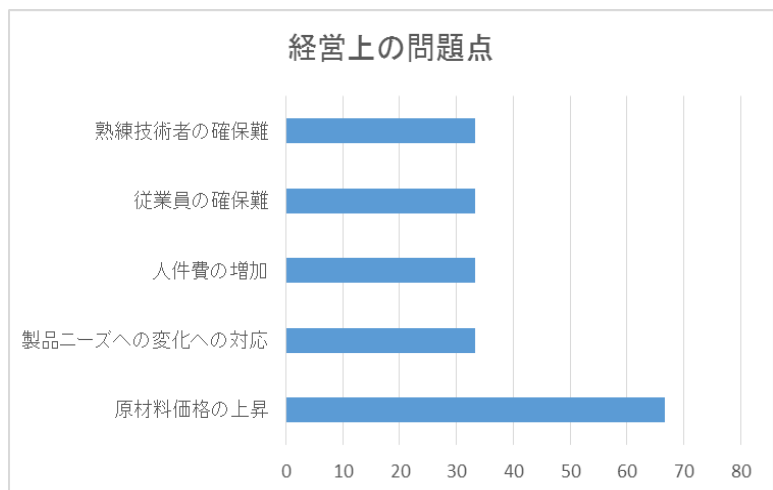
- 土地＝25.0% ●工場建物＝25.0%
- 生産設備＝25.0% ●車両・運搬具＝12.5%
- 付帯設備＝12.5%



○今期の経営上の問題点

今回 1 位は、「原材料価格の上昇」で続いて「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」「人件費の増加」と人にまつわる諸問題が浮き彫りとなる。

更に「製品ニーズへの変化の対応」と取引先の様々なニーズへの対応が迫られている。



**建設業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (平成30年4月～6月)		次期の見通し (平成30年7月～9月)
		前年同期 (平成29年4月～6月)に比べて	前期 (平成30年1月～3月)に比べて	次期 (平成30年4月～6月)に比べて来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	0	1	
	不変	2	1	
	減少	0	0	
	D・I	±0	50.0	
受注 (新規契約工事)額	増加	1		
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50.0		
材料仕入単価	増加	1		
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50.0		
資金繰り	好転	0	0	
	不変	2	2	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0		
	不変	2		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

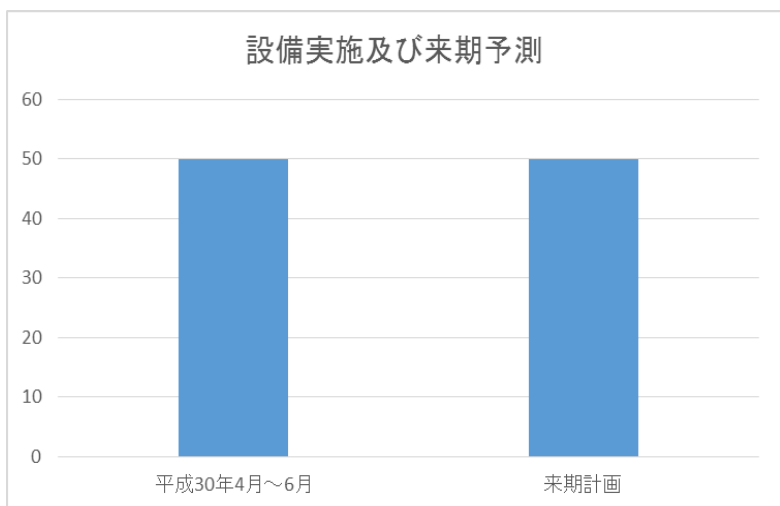
回答事業所の内、今期実施 50.0%が実施。

- 土地=100.0%

【来期計画内容】

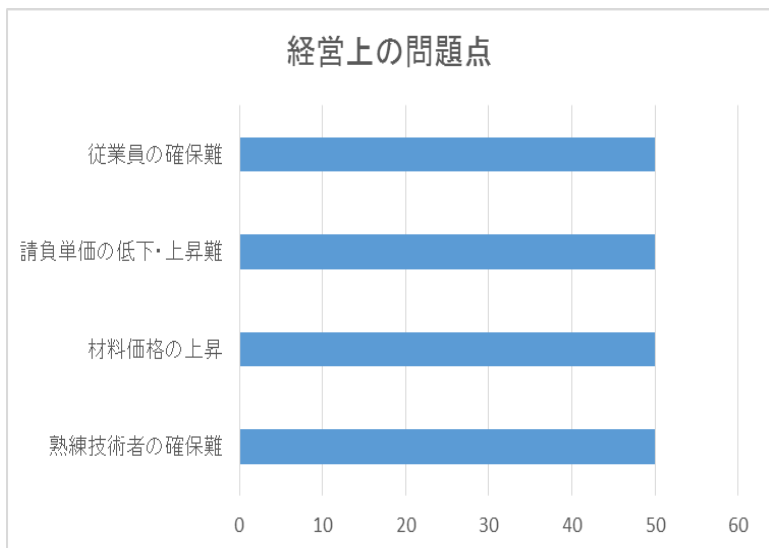
回答事業所の内、来期 50.0%計画。

- 土地=50.0% ●工場建物=50.0%



○今期の経営上の問題点

今回の「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」と従業員の確保が上位となる。「請負単価の低下・上昇難」「材料価格の上昇」と利益に直結する問題もある。



**小 売 業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (平成30年4月～6月)		次期の見通し (平成30年7月～9月)
		前年同期 (平成29年4月～6月)に比べて	前期 (平成30年1月～3月)に比べて	次期 (平成30年4月～6月)に比べて来期の 見通し
業況	好転	0	2	0
	不変	4	2	4
	悪化	1	1	1
	D・I	▲20.0	20.0	▲20.0
売上額	増加	0	0	/
	不変	4	4	
	減少	1	1	
	D・I	▲20.0	▲20.0	
客単価	上昇	2	2	/
	不変	3	2	
	低下	0	1	
	D・I	40.0	20.0	
商品仕入単価	上昇	3	/	/
	不変	2		
	低下	0		
	D・I	60.0		
商品仕入額	増加	1	/	/
	不変	4		
	減少	0		
	D・I	20.0		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	4		
	減少	1		
	D・I	▲20.0		
資金繰り	好転	0	1	/
	不変	5	4	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	20.0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	4		
	悪化	1		
	D・I	▲20.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

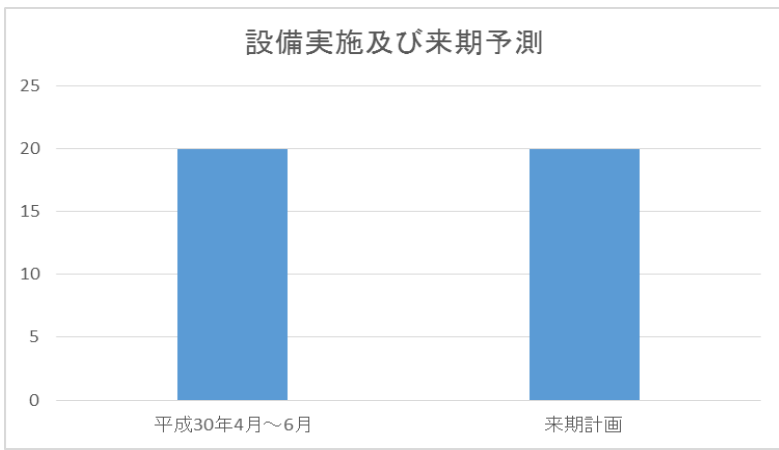
回答事業所の内、今期実施 20.0%が実施。

- 販売設備＝50.0%
- OA 機器＝50.0%

【来期計画内容】

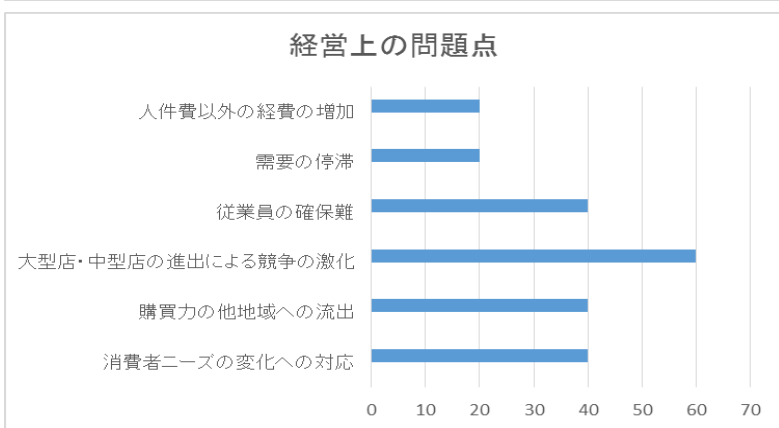
回答事業所の内、来期 20.0%計画。

- 販売設備＝50.0%
- 車両・運搬具＝50.0%



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「大型店・中型店の進出による競争の激化」がもっとも多く事業所より意見をいただいた。また、消費者ニーズの変化によりインターネットを利用した購買も進み常連客の減少も多いとの意見もありました。



**サービス業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (平成30年4月～6月)		次期の見通し (平成30年7月～9月)
		前年同期 (平成29年4月～6月)に比べて	前期 (平成30年1月～3月)に比べて	次期 (平成30年4月～6月)に比べて来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	3	3	3
	悪化	2	2	2
	D・I	▲40.0	▲40.0	▲40.0
売上(収入)額	増加	0	0	/
	不変	3	3	
	減少	2	2	
	D・I	▲40.0	▲40.0	
客単価	上昇	1	0	/
	不変	3	3	
	低下	1	2	
	D・I	±0	▲40.0	
仕入単価(材料等)	上昇	4	/	/
	不変	1		
	低下	0		
	D・I	80.0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	3		
	悪化	2		
	D・I	▲40.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

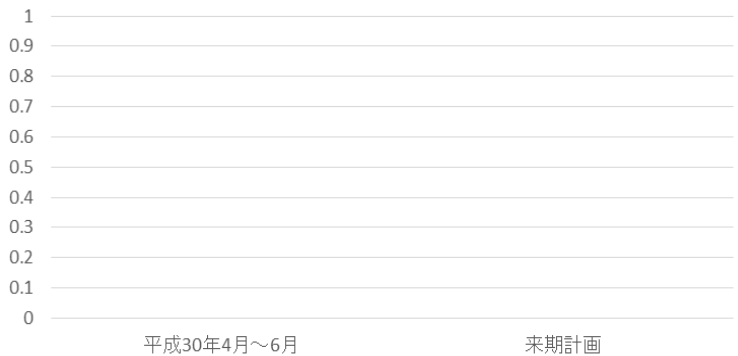
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は無し。

【来期計画内容】

回答事業所の内、来期実施は無し。

設備実施及び来期予測



○今期の経営上の問題点

今回の調査で、「新規参入業者の増加」がもっとも多く、管内において同業他社が増加傾向にあります。また、従業員等の確保や材料等の仕入の上昇など様々な値上がりが利益を圧迫している。

経営上の問題点

